

令和2年度鹿児島港中央港区開発推進協議会総会議事録

1 開催日時及び場所

(日時) 令和2年10月7日(水) 13:30~14:00

(場所) 鹿児島県木材産業協同組合 事務所2階会議室

2 会員数及び出席者数

- ・ 会員数103人 (鹿児島市三号用地振興協議会41人、鹿児島機械金属工業団地協同組合11人、鹿児島県木材産業協同組合25人、その他26人)
- ・ 出席者数57人

3 議事の内容

- ・ 定刻に至り、事務局担当者が開会を宣する。
- ・ 柴立会長より開会の挨拶がなされた。
- ・ 関係行政機関の来賓祝辞が行われた。

国土交通省鹿児島港湾・空港整備事務所	宮本 副所長
鹿児島県土木部港湾空港課	北園港湾対策監
鹿児島市都市計画部都市計画課	外園 主幹
- ・ 顧問2名の挨拶がなされた。

鹿児島市議会議員 中島蔵人氏
鹿児島県セーリング連盟副会長 今給黎教子氏
- ・ 議長については、規約により会長が行うこととなっていることから、柴立会長が議長席につき議事の審議に入る。
- ◆ 第1号議題 令和元年度協議会活動実績
 - ・ 第1号議題について、議長が説明を求めたので、事務局員は別紙資料により令和元年度活動実績について説明を行った。
 - ・ 総会、理事会及び研修会等の活動内容について、報告を行い了承された。
- ◆ 第2号議題 令和2年度活動計画(案)について
 - ・ 第2号議題について、議長が説明を求めたので、事務局員は別紙資料により令和2年度活動計画(案)について説明を行った。
 - ・ 令和元年度と概ね同じスケジュールで、理事会、総会及び研修会を行いたいとの説明がなされ、了承された。
- ◆ その他について
 - ・ 中央港区を取り巻く最近の動きについて、事務局員から説明がなされた。

以上で総会での審議を終了したので議長より閉会を宣した。

総会終了後、以下の講演会及びが開催され、多くの会員が参加されました。

◎ 講演会 「鹿児島港中央港区における港湾の計画と現状について」

14:05 ~ 14:45

講師 鹿児島県港湾空港課 北園 港湾対策監

鹿児島港の概要、臨港道路(鴨池中央港区線)の整備、クルーズ船の受入環境整備、旧木材港区の埋立等について、スライドと資料を用いて判りやすく講演していただきました。

◎ 質疑応答・要望等要旨 14:45~15:10

(Q1) 木材港を埋め立てた後は、県が直接施設整備を行うのか。

(A) 民間への売却も選択肢の一つである。

(Q2) 旧木材港区の西南側に防潮堤があり、道路も狭く見通しも悪い。人も通るので危ない。防潮堤を撤去してほしい。

(A) 防潮堤の全面は現在海面となっており、現時点で撤去するのは困難。埋め立ての進捗状況に応じて検討したい。

(Q3) 木材港は20ヘクタールのうち16ヘクタールを埋める計画であるが、残り4ヘクタールの利用はどのようにするのか。

(A) 海面の利用については、皆さんの意見を聴きながら対応したい。

(Q4) マリンレジャーのための整備は考えていないのか。

(A) 平成5年に策定した港湾計画書では、木材港の北側の海面利用を考えている。

(Q5) 木材港の北側の海面は波が直接来るので、台風時などは船を陸揚げする必要があり使いにくい。船溜まりを造ってほしい。(要望)

(Q6) 木材港の埋立について、貝などの底生生物が生息する西側河口周辺は水域として残す計画になっているが、この部分を船溜まりとして利用できないか。

(A) 県が船だまりとして利用を認めることは難しい。

(Q7) 船舶の不法係留が多いので対策が必要である。(意見)

(Q8) 木材港の埋立について、水域として残る4ヘクタールを活用してマリーナの整備をしてほしい。黎明大橋の高さが15mなので、それより高さの高い船はマリンプォートかごしまに係留できるようにしてほしい。

今回鴨池中央港区線の橋梁の高さは8mとなっているので、大きな船は通れなくなる。現在操業されている方々はどうなるのか。

(A) 移転の協議を進めているところである。南港の活用については、今後検討することとしている。

(Q9) 南港で事業を行っている。交渉には応じるが、同意は未だしていない。開閉式の橋にできないか検討してほしい。

また、南港は埋め立てる計画になっているが、計画を立ててから20~30年経過しており時代に合わないのではないか。もっと有効活用できないか検討してほしい。(要望)